

あまぶきじぼうだん

天吹自防団（王寺町）

① 地域の特性

昭和40年代に住宅開発が行われ、104世帯から構成された自治会です。自治会には、ため池、幼稚園、山林があり、自然豊かな住宅街です。

現在、自治会内では、建替えられた住宅や二世帯住宅、老朽化した住宅が混在しています。自治会内においても少子高齢化等が進んでいます。これらの問題解決の一助として、地域住民の世代を超えた交流のつながりの大切さから、平成17年に自治会館「慈遊館」が新設されました。この会館を通じて様々な地域交流事業が行われています。

② 活動内容

阪神・淡路大震災を契機に、地域で抱える様々な問題が積極的に話されてきました。活動のテーマは、日常生活の維持として…

- ・水の確保として20ℓポリ容器を自治会内の各辻に45個を配備しました。また、水質確保の為に、西和衛生試験センターと役場水道部と連携を図りながら、その確保を目指しました。
- ・自治会内の危険箇所を地図で確認しながら避難ルートの確保に努めました。
- ・各世帯に、地震時の家具転倒防止用具を配布しました。
- ・西和消防組合の指導で普通救命救急講習会を開催しました。
- ・自治会内にあるため池を利用して、児童から高齢者まで参加し、バケツリレーによる消火訓練を行ないました。
- ・町役場と連携を図り、簡易トイレの設営とその体験を行いました。
- ・自主防災組織と消防団が連携して放水訓練を行ないました。

③ セールスポイント

王寺町で展開する町内美化清掃を目的にしたクラブ活動制度があり、毎月1回の清作業に取り組んだ後、防災に関する事業や啓発活動を行っています。この活動を利用して、自治会員の集客と時間を効果的に使い、継続的に、無理せず防災事業を行っています。

また、自主防災組織だけでなく関係団体や行政が平時から連携してアイデアを出し合って事業を展開しています。

各分野で得意な分野や啓発したい分野を自主防災組織で取り入れ、自治会員だけの力でだけでなく、協力体制で行えるところがセールスポイントです。

④ 今後の課題

現在、天吹自防団だけの活動ですが、多発的に起こる地震等の大規模な災害に対して他の自主防災組織と連携が必要と考えられます。そのような際には、地域ブロックでの動きが必要で、平時においてのつながりと訓練が今後の課題と考えられます。

⑤ 参考資料

(別紙参照)

■ 王寺町クリエイト・クリーン・サークル

○ 定義

「CCC」とは、美しい（クリーン）王寺の町を創造（クリエイト）するため、公園等の清掃及び除草等、町の美化作業を自発的に行うために組織された団体（サークル）で、町長が認めたものをいいます。

○ 経緯

平成元年、地域のアイデンティティの確立が望まれる中、国においては「ふるさと創生事業」が創設され、町においては「基本構想」の制定が進められていました。

そのような中で、これからの王寺町の将来像を展望するなかで、住民の方に街づくりアンケートを実施したところ、その多くの方々から「緑豊かでゴミのない綺麗な街づくり」を望まれる方が最も多く、町としても、先人先輩の残された自然を守り育てることを大きな柱とし、「水と緑と人が共生する生活都市の創造」を将来像としたまちづくりを進めることとなりました。

そして、その実現に向け、多くの事業展開をする中の一つとして、住んでいる住民の一人ひとりがその実現に向けた参加機会の一つとして「CCC」が誕生しました。

○ 内容

住民の健康と快適な生活を守るため、日頃から公園などの清掃・美化を自主的に行うボランティア団体、それが王寺町クリエイト・クリーン・サークル（CCC）です。

自治会や消防団、子ども会、婦人会、老人会その他個人有志のグループなどで構成され、平成7年度から始まり現在84団体が登録しています。

CCCの活動は、町内の公園や道路、河川、公共施設など、身近なところでの美化清掃を行うことです。月に1回のこの活動は、自主的に行うのが基本となっています。王寺町では、こういった取組を支援するために、清掃道具の配布や状況に応じた報償金の援助などを行っています。地域住民とのふれあいを楽しんだり、自分自身の成長を感じたり、自分たちのまちを自分たちの手で美しくするという気持ちから自然に生まれたCCCの活動は、これからも多くの人々の手によって受け継がれていくものです。

■ 天吹自治会 「ABC」

天吹自治会の「ABC」とは、Amabuki Beautiful Club（天吹美化倶楽部）のそれぞれの頭文字をとったもので、自治会の清掃活動をするクラブとして自治会内に発足しました。

この活動から、新たな取組として“D”の取組が誕生しました。この取組は「ディフェンス」のDで、平成7年に発生した阪神・淡路大震災でクローズアップされた自助・共助を基本とした自主防災組織の取組です。

参考資料

安全・安心なまちづくりに向けて...

王寺町CCC活動団体『ABC』

【D】の取り組み

2004年
1月





西暦第 1741 号
平成18年 2月23日

(注) 実用技術開発補助金 採択 通知書

西暦第 1741 号

種 別	土木 浄水	採 取 番 号	1741
採 取 者 氏 名	正午町企業振興機構	採 取 者	
採 取 者 住 所	北茨城県五支町	採 取 年 月 日	平成18年 2 月 9 日
採 取 者 業 務	水道 上水道	採 取 地 区	茨 城

品 名	高層なし	高さでないこと
シ 口 径	7.2	5.0以上8.0以下であること
色	無色	5度以下であること
厚 度 (mm)	0.5未満	2度以下であること
傾斜角度(度)	0.02	10mm以下であること
電 流 イ ン ン (mA)	10.7	20mA以下であること
通気口(開口)の面積(mm ²)	1.4	10mm ² 以下であること
一 般 耐 震 (TP(A))	0	1m ² 以下であること
火 災 耐 震	検出しない	検出されないこと
耐 震 耐 震 度 (mm)	0.5未満	—
以下余白		

附 記 上記実務項目については本実務標準に適合する。

採 取 出 発 者 株式会社 東 武 水 道

採 取 者 株式会社 東 武 水 道

①転倒のメカニズム

家具の全重量(W)が、家具の重心(G)から真下に垂れている時には、家具は安定している

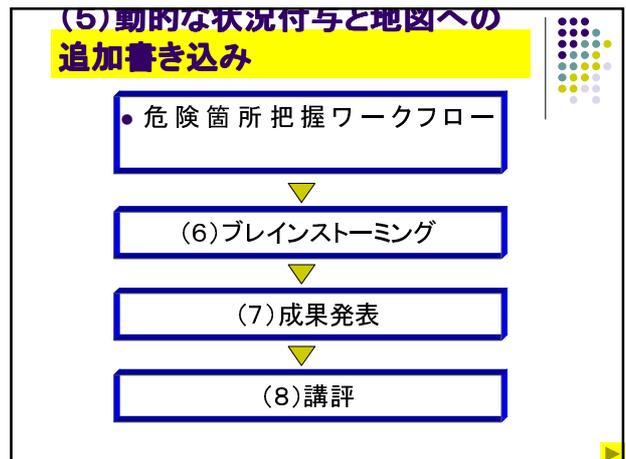
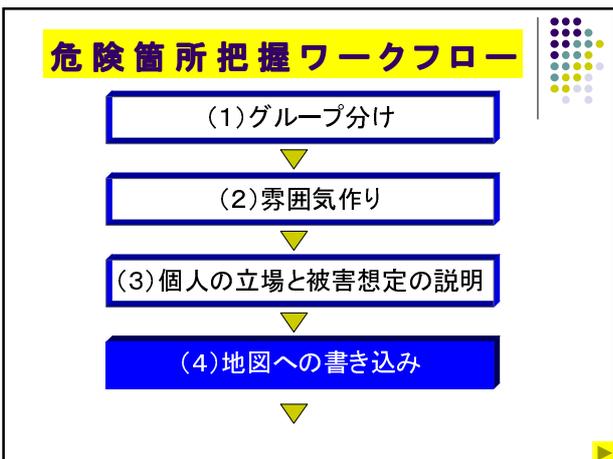
ここに揺動力(P)が働いた場合、家具は動く

さらに強く揺動力(P)が働くと家具の重心(G)が移動し、ポイントaを越えると家具は転倒する

2月

「へえ。家具って、こんなふう倒れるの」

【家具転倒防止策の取組み】より



給食・給水訓練の要領と実施の留意点

訓練内容

① 釜や飯ごう・大鍋などを使用した炊き出しの方法を覚える

- 被災後の衛生状態の悪し中で、大勢の人に配給することを考え、手や調理器具の洗浄をしっかりと行う。
- ガスや電気を扱う調理とは勝手が違うので、燃料の確保、水加減、火加減などの習得が必要。

② 公的機関などからの救援物資の配給計画を立てる

- 救援物資の受入れと配給をスムーズに行えるよう、配給計画を作成する。
- 町内会などの班単位の代表者に配給し、混乱を防ぐ。

③ 給水拠点や給水方法を決めておく

- 事前に給水車による給水拠点を決めておく。
- 給水車からの給水方法を訓練しておく。
- ろ過網なしに飲料水を確保する方法（海水蒸留法、夜露や雨水の採集法、比較的清潔な汚水の簡易ろ過方法など）を学んでおく。
- 地域内の井戸などの飲料水を確保できる場所も調査しておく。

そしてこれから




普通救命講習修了証
 奈良市消防局

再講習受講の記録（救命技能を忘れることなく、維持向上させるため反復して講習を受けてください。一つの目安としては2年毎といわれています。）

平成 受講 平成 受講

普通救命講習修了証 第35110号
 氏名 山形 敏雄
 昭和12年 7月 6日生
 上記の者は、普通救命講習を修了し、救命技能を有することを認定します。
 平成15年12月 5日
 奈良市消防局 

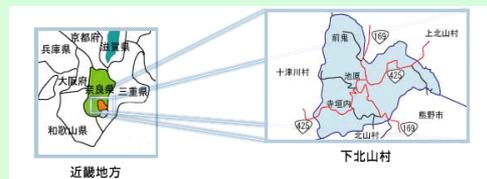
CCC活動団体『ABC』
【D】の取り組み

自主防災会の活動

平成22年1月16日(土)
下北山村 佐田地区自主防災会

下北山村とは・・・

- ・奈良県最南端の人口1,228人の小規模村
- ・高齢化率(65歳以上)43%
- ・山間部に位置し、日本でも有数の多雨地帯
- ・国道169号線が通っており、生活圏は三重県



災害への不安

- ・国道169号線が大雨等による土砂災害などにより遮断されてしまうとたちまち陸の孤島に・・・
- ・高齢者が多く、若者が極めて少ない
- ・地区には土木関係の業者がないため、重機の確保が困難

佐田地区自主防災会の設立

- ・平成17年度設立
(70世帯 人口127人 高齢化率43%)
- ・住民一人一人が災害に備えて日頃から充分に準備しておくための啓発活動を繰り返し実施



『自分の命は自分で守る』

そのための自主防災会の活動とは・・・

自主防災会活動内容

【平成17年度】

- ・吉野広域消防による地震についての講演会
- ・防災グッズの展示及び説明



【平成18年度】

- ・佐田区民名簿の作成
- ・危険箇所チェック及び防災マップの作成
- ・避難訓練の実施

【平成19年度】

- ・佐田区民名簿の見直し
- ・応急手当についての講習会



【平成20年度】

- ・吉野広域消防による地震についての講演会（2回目）
- ・防災意識調査（アンケート）



【平成21年度】

- ・避難場所の看板の設置
- ・地震体験車による地震の体験等



今後は・・・

いくら立派な計画あるいは組織をつくっても
機能しなければ無意味

私たちの自主防災会は、思いやり、助け合い
の精神で活動を行っていきます

ご静聴ありがとうございました

活動風景（佐田地区自主防災会）NO. 1



活動風景（佐田地区自主防災会）NO. 2

